

高等学校における教科指導の充実

公 民 科

「現代社会」における  
課題追究学習と評価の工夫

栃木県総合教育センター  
平成21年3月

# ま え が き

総合教育センターでは、平成17年度より、「高等学校における教科指導の充実に関する調査研究」に取り組んでいます。この調査研究の目的は、基礎・基本の確実な定着を図るための授業改善を目指して、教科指導の在り方について研究し、その成果を普及することにより、生徒の学力の向上に資することにあります。

教育課程実施状況調査や学力に関する国際的な調査では、日本の児童生徒の学力の状況や学習に対する意識などが明らかにされ、文部科学省等からも学力向上のための様々な対策が打ち出されたり提言がなされたりしています。

平成19年12月に公表された、2006年のOECD生徒の学習到達度調査（PISA）では、科学的リテラシーをはじめ、数学的リテラシー、読解力のそれぞれについて問題点が指摘されています。

また、平成20年12月には、国際数学・理科教育動向調査の2007年調査（TIMSS2007）の結果が公表されました。この調査では、学力低下に歯止めがかかったという分析がある一方で、パターン化された指導の弊害とも見られる結果も一部に見られ、思考力の育成に課題があることも指摘されています。

小学校と中学校の新学習指導要領が平成20年3月に公示されたのに続き、21年3月には、高等学校の新学習指導要領が公示される予定です。高等学校においては、数学と理科が24年度から、国語、地理歴史、公民、外国語が25年度から学年進行で実施されます。小・中学校、高等学校とも、今回の改訂の主な改善事項として、「言語活動の充実」、「理数教育の充実」が示されました。これらは、先に挙げた各種調査で、思考力・判断力・表現力等を問う読解力や記述式の問題、知識・技能を活用する問題に課題が見られたことなどに対する改善策でもあります。

本調査研究においては、今年度、国語科、公民科、数学科、理科、外国語科（英語）の各教科で、各種調査の結果から指摘されている課題と教育界の動向を踏まえ、その解決を図るための授業改善について取り組みました。研究の成果をまとめた本冊子を有効に御活用いただければ幸いです。

最後に、調査研究を進めるにあたり、御協力いただきました研究協力委員の方々に深く感謝申し上げます。

平成21年3月

栃木県総合教育センター所長

鈴木 健 一

# 目 次

はじめに	1
事例1 職業観・勤労観の育成を目指した課題追究学習と評価の工夫	2
事例2 思考力・表現力の育成を目指した論述指導と評価の工夫	17
事例3 身近な商品を通して考えさせる課題追究学習と評価の工夫	36
おわりに	45

本資料は、栃木県総合教育センターのホームページ「とちぎ学びの杜」内、「調査研究」と「教材研究のひろば」のコーナーにも掲載しています。

「とちぎ学びの杜」 <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

# 「現代社会」における課題追究学習と評価の工夫

はじめに

現行の学習指導要領では、公民科「現代社会」の目標は、「人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。」とされている。さらに、学習指導要領解説では、「現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い」という部分について、「現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断する」とことと「自ら人間としての在り方生き方について考える」とことの相互関連に留意した課題追究的な学習活動を目指す趣旨である、と述べられている。

このような学習指導要領の趣旨を踏まえて、本研究では、課題追究的な学習活動（以下、「課題追究学習」とする）を通して、生徒の思考力や判断力、表現力を育成し、人間としての在り方生き方を考えさせたいと思い、授業実践を行うこととした。

また、指導と評価の一体化という視点から、課題追究学習に対する評価についても検討した。思考力や判断力、表現力は、教師による観察や発問、生徒のレポート、発表、ワークシートや提出課題などをもとに評価することが多く、定期テストなどのペーパーテストで評価することはあまり行われていないのが現状である。そこで、本研究では、「現代社会」の課題追究学習の実践と合わせて、思考力、判断力や表現力を評価するペーパーテストの作成にも取り組んだ。

各事例の実践内容は次のとおりである。

## **事例1** 職業観・勤労観の育成を目指した課題追究学習と評価の工夫

「社会とのかかわり」と「雇用と今日の労働問題」の単元において、自らの問題として進路選択や職業選択について考えさせ、生徒に職業観、勤労観を身に付けさせることを目指した。

## **事例2** 思考力・表現力の育成を目指した論述指導と評価の工夫

「現代社会」の授業の中で様々な課題について考えさせ、自分の意見や考えを書かせることを通して、生徒の思考力や表現力を高めることを目指した。

## **事例3** 身近な商品を通して考えさせる課題追究学習と評価の工夫

「市場経済のしくみ」の単元において、身近にある様々な商品から課題を発見させたり考えさせたりする活動を通して、生徒の思考力や判断力を育成することを目指した。

## <研究協力委員>

栃木県立栃木商業高等学校	教諭	興野寛久
栃木県立佐野松陽高等学校	教諭	岩井謙治
栃木県立茂木高等学校	教諭	藤田法彦

## <研究委員>

栃木県総合教育センター 研修部	指導主事	阿久津如子
-----------------	------	-------